

# インドムンバイ新聞

ムンバイ日本人学校 さいとうえいこ  
平成30年6月25日号



Monsoon has come...  
今年もモンスーンの季節です。

鳥屋野小学校のみなさん(\*^-^\*)梅雨時期ですが、毎日元気に学校生活を送っていますか？

鳥屋野小学校のHPを見ると、盛り上がった運動会や、6年生の修学旅行、そして鳥屋野小学校自慢の素晴らしいプールでの水泳授業…みんなが元気に活躍している様子が、ここムンバイにいても伝わってきます。夏休みまであとひと月。元気に1学期の後半を過ごしてくださいね。さて、今年もやってきました！モンスーン情報をお伝えします！

日本も梅雨時期ですが、今ムンバイも Monsoon シーズンに突入しています。モンスーンと言うのは、本来「季節風」という意味ですが、インドでは季節風が運んでくる雨雲…そこから降って来る雨、その雨がたくさん降るシーズン含めてモンスーンと呼んでいます。モンスーンの雨の特徴は、とにかく短時間でどばーっと降ることです。生温かい風が強くなると、バケツをひっくり返したような降り方の雨が1～2時間くらい続きます。その後はやむことが多いのですが、空はずーっとどんよりしたまま。この状態が9月まで続きます。



モンスーンで驚くのは、雨の降り方もそうなのですが、その雨を本当に嬉しそうに、Happyに受け入れているインドの方たち。シャワーでも浴びているように、にこにこと、楽しそうに雨の中を行き交うインドの方たちの様子は、とても印象的です。雨から身を



道路に川のように流れる雨水で、  
リキシャーを洗う、おじさん(´▽`)

守り、なるべく濡れないように…と思う日本人の感覚とはずいぶん違います。インドの方たちは、本当に雨が大好き。インド人の友だちや仲間に訊いてみると、「え？だって雨って大切じゃない？」とか「雨に濡れた木や緑ってきれいよね。」「雨が降ると涼しくて気持ちいいでしょ？」って。なるほどなー。確かに雨ってとても大切。雨が降らなかつたら作物は実らないし、水不足になります。人口の多いインドではこれはとても切実な問題。

日本人の私たちにとっては、不安な気持ちになるモンスーンですが、雨の中ににこにこと歩くインドの方たちを見ると、私たちももう少し、生きることを、そして自然をありのままに受け入れて、楽しむべきなのかなあって思います。